

## 令和5年度 事業計画

### 地域活動支援センターこまつがわ

#### I. 基本方針

地域活動支援センターこまつがわでは、法人理念「一人ひとりの自己実現と誰にとっても暮らしやすい地域づくり」に基づき、「障害者が安心して暮らせる支援をする場、社会参加を促進する場」を提供し、啓発を通じて「ソーシャルインクルージョン社会の実現」を目指すことを基本方針とする。

#### II. 事業

##### 1. 地域活動支援センターⅠ型

###### ○はじめに

障害者だけでなく地域で困りごとがある方の生活相談等受けていく基本相談を強化していく。障害福祉サービスにとらわれない事業だからこそ柔軟に取り組めるという特性を生かして、活動や交流に取り組んでいく。また、障害者の社会参加や啓発につながるプログラムを提供する。

###### ① 事業内容

###### <総合相談>

- 1) 障害者及び家族等全般において、障害福祉サービスの利用者（特定相談支援の対象者）に

かわらず、ワンストップ相談を行い、潜在ケースの掘り起こしをしていく。

- 2) アセスメントにより、障害福祉サービスのニーズが把握された場合は、区の指定特定相談支援事業所等と連携する等のマネジメントを行う。
- 3) アウトリーチが必要なケースや、危機介入等が必要なケースに対し、保健師等と連携して必要な対応をおこなう。また、地域生活支援のひとつとして、引きこもり支援の検討を進めつつ、ピアサポートを活用して強化できる体制整備を行う。
- 4) 同行支援が必要であるが、それに対応するサービス等が調整されていない場合は同行支援を行う。

#### <活動>

- 1) スポーツプログラムを通じて社会参加や啓発につながるプログラムを提供する。また、スポーツを通じた親睦や仲間意識の強化のため、祝勝会やお疲れ様会、遠征試合など継続して行う。
- 2) 音楽活動を通じたボランティア活動「ヒーリングライツ」と共に地域社会への参加機会を増やす。また、音楽を通じた語らいの場（ゆるおと）を提供する。
- 3) 創作活動、生産的活動機会の提供。アートプログラム（あとリエ）で作品を創作し、展示等を行い地域に発信していく。
- 4) セルフヘルプ活動への支援  
  
当事者の集いの場を作り、ピアの一層部分でもある同じような体験の分かち合いの場、自助・互助を促す場として実施する。集いの場では職員の補助のもと、当事者がファシリテーションできるよ

うにしていく。

#### <交流>

ボランティアや地域の方々とプログラムやイベントを通して交流し、誰もが安心してく

らせるまちづくりに寄与する。

##### 1) スポーツ

交流プログラムを通じて、他事業所や他の地域のスポーツサークルとのネットワークを広げて、スポーツ

以外での親睦や交流にもつながるようにする。また、居場所・仲間づくりを目的としながら、地域の

方との交流の場を持てるようにする。

##### 2) 音楽

歌会などを通じて、地域の方との交流の場を持てるようにする。

「ヒーリングライツ」とともにボランティアで社会貢献活動をしていく。

##### 3) アート

「エドてらす」の事務局として、アート活動を通じた障害啓発、社会参加を図っていく。

##### 4) セルフヘルプ

自助グループの活性化・仲間づくりとして、この場から生まれたサークル活動を応援、見守る。

##### 5) 地域ボランティアの育成及び導入

・精神保健福祉ボランティアを養成する研修を実施。(地活Ⅰ型、精神保健係と共同)

・ボランティアの確保(ボランティアセンターと連携していく)

② 職員体制

センター長（専従）1名・相談員（専門職：専従）1名・

相談員（非常勤）1名《新規採用予定》

③ 年間利用予定者数 登録者数：400名 相談支援延べ件数：2,000件

交流室利用延べ件数：4,000

2. 江戸川区精神障害者就労支援事業 事業計画

○はじめに

就労のために必要な支援の全般を実施。生活状況の安定から始まり、就職後に仕事上での悩みや対人関係での悩み等の相談を受けながら、解決策を一緒に考えていき安心できる生活を継続できるように環境を一緒に整えていく

①事業内容

1) 生活基盤を整える土台づくり

- ・生活のこまりごとを解決する支援を行う。

- ・安定した生活基盤を確保するために、継続的な支援が必要な方には障害福祉サービスを紹介し、つなげる。

## 2) 就労へむけた支援の実施

- ・就労準備性を身につける個別支援を行う。

- ・地域活動支援センターこまつがわにて、就労にむけて必要なプログラムを定期的に提供する。

- ・就労にむけて必要なスキルを習得するために、継続的な支援が必要な方には障害福祉サービスを紹介し、つなげる。

- ・就きたい職業に向けて、一緒に考えられる支援を提供する。

## 3) 職場定着支援、

面談、電話、メール等での個別相談や企業や支援機関の調整を行い、就労継続、定着支援をする。

## 4) 啓発

- ・就労支援会議 年2回開催。(センターえどがわ、センターかさい共催)

事前に準備の為の会議を実施。当該年度の開催内容を検討する。

区内の就労支援事業所、特別支援学校、行政などとグループワーク、事例検討会を開催予定。

② 職員体制

障害者就労支援員（専門職：1名）以上を配置

③ 年間利用予定者数 12名（新規登録者数）

3. 江戸川区精神障害者居住支援事業 事業計画

○はじめに

生きる基盤である住まいの確保において「障害がある」という理由で入居を拒まれない社会、誰もが安心して暮らし続けられる地域づくりを目指す。

本人と一緒に考え、関係機関と連携しながら家探し・引越しに関する個別支援を行う。

①事業内容

1) 賃貸契約に関する一般住宅への入居・転居を支援し、その後に安定した地域生活が送れるように集中的に支援する。

・住居探しに関する相談、情報提供

・不動産業者への訪問、内見、契約に同行

・各関係機関との連絡調整

- ・各種公的サービス申請手続き等の支援

- ・入居後のアフターフォロー

- ・緊急時の対応

## 2) 関係機関との連携、居住支援事業打ち合わせ

- ・随時、区内の居住支援事業を受託している地域活動支援センターの居住支援担当、居住支

援法人等との連携

- ・障害福祉サービス関係者、保健師、生活保護ケースワーカー、不動産会社等との連携

- ・精神保健係・区内の居住支援事業を受託している地域活動支援センターの居住支援担当と

の定期的な打ち合わせ（できるだけ対面で行う）

## 3) 啓発

- ・講演会の開催。

- ・居住支援事業、居住支援緊急時対応事業の周知活動

- ・不動産会社、大家、賃貸債務保証会社への啓発

- ・行政や関係機関、協議会等に住まいに関する課題を発信

② 職員体制

居住支援コーディネーター1名を配置

③ 年間利用予定者数 17名

4. 江戸川区精神障害者ピアサポーター育成事業 事業計画

○はじめに

ピアサポーター研修とピアサポーター実践の学びの場を提供し、受講者や地域の実態に合わせながら、研修組み立てや、キャリアパス整備と活躍の場の開拓を図ってきた。今年度は、ピアサポーター登録に着手する新たな境地への一年となる。昨今ピアサポーター加算が導入されたことにより、期待が高まる一方、ピアサポーターとの協働と正しい認識についての啓発は、ピアサポーターが活躍しやすい地域づくりに必要不可欠な取り組みであり、本事業ではピアの階層別に合わせた育成を目指していきたい。また、ピアサポーター登録制度など、本事業はピアサポーターの三層構造を意識し、試行的かつ探索的に実施する。

事業拡大に伴う組織再編を行い、キャリアパスに応じた体制整備をすすめる。本事業の企画を通じて、事業所や法人のスタッフが相互に育成されること、および、相互理解向上を期待している。



① 事業内容

別紙参照

② 職員体制

コーディネーター（専従）1名 補助（専門職、ピアサポーター）

③ 年間利用予定者数

ピアサポーター研修受講者 12名定員 育成OJT 8名

ピアサポーター登録 5名

### III. 事業所全体の取り組み

#### 1. 人材育成

日々の業務や事業所内の勉強会、外部の研修に出向き、支援における基盤づくり、質の向上を図る。

1) 生活上の困りごと（健康、保健や福祉、経済的な問題、就労に関する相談等）の相談に対し、

福祉サービスの情報提供や個別支援を行うスキルを身につける。

2) 施設を運営する上で必要な業務が共有できるよう、マニュアル化を目指し、ブラッシュアップしていく。

3) 法人内外の事例検討会に参加し、グループスーパービジョンを行う。

4) 医療面において専門的知識が必要な場合等は嘱託医と連携する。